学校番号	1202

令和３年度　美術科

教科	美術	科目	絵画Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・鉛筆、ペン、色鉛筆、墨、水彩絵の具など、いろいろな画材を使った平面作品の制作をします。それぞれの画材の特徴を活かした技法を学びながら、観察して正確に描く技術を学ぶ素描（デッサン）や、自分のイメージしたことを表現する想像画に挑戦し、自分らしい表現方法を追求していきます。

・自分の作品について制作意図を他者に伝えること、他者の作品についても理解を深め、そのよさを共有し、自分の制作に生かすことができるように「鑑賞」の時間も大切にします。

2　学習の到達目標

絵画に関する学習を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，専門的な美術に関する資質・能力を育成することを目ざす。絵画表現のそれぞれの表現形式の特性について理解を深めるとともに，創造的な表現と鑑賞に関する資質・能力を高め，絵画表現の可能性を追求する態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造的の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	出席状況 制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	アイデアスケッチ ワークシート 制作途中の作品 完成作品	制作途中の作品 完成作品	ワークシート 鑑賞活動やグループワークでの発言内容 完成レポート 鑑賞プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	絵画基礎1	・オリエンテーション 「絵画 A」の学習イメージをつかむ。 ・鉛筆について その特性を理解する。 ・グレースケールなど	○ ○ ○		○ ○	○	a:鉛筆等の画材に関心を持ち,特性を活かそうと工夫している。鉛筆の濃淡で表現することに関心をもち、制作に主体的に取り組んでいる。 c:鉛筆の特性を生かし、表現している。 d:作品を離れて見ることで、客観的に見直し、完成度をあげている。	・出席状況 ・学習活動の様子 ・制作途中の作品 ・提出作品
	絵画基礎2	「手を描く」 ・クロッキー ・デッサン ・ペン 同じモチーフでも描画材や描き方の違いで、線の表情が変わり、表現効果が変わることを学びます。 ・完成レポート ・鑑賞	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:描画材の違いに関心を持ち、その特性を生かした制作となっている。 b:モチーフの形体をよく観察しつつ、表現の工夫をしている。自分らしい表現の方法を模索している。 c:課題の目的を理解し、鉛筆やペンなどの描画材の特性を生かした表現となっている。 d:自分の作品を離れてみることで、客観的に見直し、完成度をあげている。他者の作品のよさ、工夫されているところなどを感じ取ることができる。	・出席状況 ・学習活動の様子 ・制作途中の作品 ・提出作品 ・完成レポート ・鑑賞プリント
	ペン画とは!?アイデアを深める	「ペン画」 ・参考作品鑑賞 多様な表現方法を知り、自分の作品制作に生かす。 ・ミニサイズでエスキースし、相互鑑賞する。相互に意見を出し合い、他者の意見を取り入れながら、さらに良い構図やモチーフなど作品の構想を深める。 ・アイデアをまとめる。	○ ○ ○	○ ○		○ ○	a:課題や参考作品に関心を持ち、その主題や表現方法を自分の制作に活かそうとしている。自分のイメージを求めて主体的、積極的に資料を探している。 b:自分で設定したテーマを基に、創造的にモチーフを選び、自分らしい表現の方法や効果的な構図を模索している。 d:自分の作品について理解を深めることができる。他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを読み取り、その作品に対してより良いアイデアや自分の意見を伝えることができる。	・出席状況 ・学習活動の様子 ・アイデアスケッチ ・エスキース ・鑑賞活動の様子や発言内容

1学期	ペン画本制作	・本制作 イラストボードに下描き ・ペンで描画する。 ・必要に応じてべた塗りの部分も作る。 ・完成レポート、展示	○ ○ ○	○	○ ○	○	a:テーマを基に自分のイメージを追求し、主体的かつ積極的に制作に取り組んでいる。 b:自分の発想を大切にし、効果的な表現の方法や構図を模索している。線での表現方法を多彩に試せている。 c:ペンの特性と効果を生かした表現となっている。完成までの時間を考え、計画的に制作が進められている。 d:自分の制作意図や表現の工夫、よさについて理解を深め、他者に説明できる。他者の作品のよさ、工夫されているところなどを感じ取ることができる。	・出席状況 ・制作の様子 ・制作途中の作品 ・鑑賞活動の様子や発言内容 ・提出作品 ・完成レポート
2学期	抽象画とは？	「モダンテクニックを使ったコラージュ制作」 ・様々なモダンテクニックを体験する。 描く以外の表現を学び、多彩な表現方法と平面構成について学びます。 ・コラージュでまとめる ・完成レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○	a：モダンテクニックによる表現方法とその効果に興味を持ち、その技法を使って自分の世界を追求しようとしている。 b:新しいテクニックで得られる表現効果をいろいろ試し、楽しんでいる。イメージを深め、自分らしい表現を自由に追求している。 c:必要な素材を精選し、効果的に配置している。仕上がりが美しい。 d:作品の主題や作者の表現意図、効果的な表現の工夫などを読み取り、共感している。自分の作品について表現の効果や工夫について伝えることができる。	・出席状況 ・制作の様子 ・制作途中の作品 ・鑑賞活動の様子や発言内容 ・提出作品 ・完成レポート
	自由に描いてみよう、まずは小さな作品 Part1	「自由制作 Part1」 (B4 サイズ) 水性絵の具・色鉛筆・鉛筆、クレヨンなどを用いた自由制作。 ・アイデアスケッチ ・下描き ・本制作 ・完成レポート	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○	a:主体的にテーマを決め、制作や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:独創的に発想し、イメージが深められている。効果的な構図を探し、配色計画が練られている。 c:意図に応じて画材や表現方法を選んでおり、表現方法を工夫して、自己のイメージを追求し表現している。 d:自分の作品の表現で工夫したところや成功しているところを説明できる。他者の作品のよさや表現の工夫を見つけることができ、今後の自己の制作に生かそうとしている。	・出席状況 ・制作の様子 ・アイデアスケッチ ・鑑賞活動の様子や発言内容 ・制作途中の作品 ・提出作品 ・完成レポート

3 学 期	集大成！自由画(想像画　Part2	「自由制作　Part2」 (B2サイズ) 水性絵の具・色鉛筆・鉛筆、クレヨンなどを用いた自由制作。 ・アイデアスケッチ ・下描き ・本制作① ・中間発表会 相互に意見を出し合い、他者の意見を取り入れながら、さらに良い構図やモチーフなど作品の構想を深める。 ・本制作② 中間発表会の意見を取り入れ、さらに制作を進める。 ・完成レポート	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	a:主体的にテーマを決め、制作や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。自己の内面を深く見つめ、テーマが設定されている。 b:独創的に発想し、イメージが深められている。効果的な構図を探し、配色計画が練られている。 c:意図に応じて画材や表現方法を選んでおり、表現方法を工夫して、自己のイメージを追求し表現している。 d:自分の作品の表現で工夫したところや成功しているところを説明でき、自分の作品について理解を深めている。他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを読み取り、その作品に対してより良いアイデアや自分の意見を伝えることができる。	・出席状況 ・制作の様子 ・アイデアスケッチ ・制作途中の作品 ・提出作品 ・完成レポート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。